

# ～まちの話題～

# おじちゃんおばあちゃん いっまでもお元気で

「敬老の日」にちなみ、町内の各所で敬老の行事が行われました。  
九月十日、エスペランス丸山で、七十歳以上の高齢者約三百人が参加して、敬老会が開かれました。式の後にはコントや漫才の余興を楽しみました。



余興を楽しむ敬老会参加者

九月十三日、城山保育園の年長、年中組の三十四人が、一期一会荘を慰問に訪れ、この日行われた「寿の会」で歌や踊りを披露しました。  
会の最後に「運動会では、竹馬をがんばりますので、おじいちゃん、おばあちゃん応援してください」



一期一会荘を慰問に訪れた城山保育園児

町内の保育園では、高齢者と交流を図ろうと、「祖父母一日入園」が企画されました。  
九月十五日、英保育園では園児の祖父母や四地区の老人会約七十人が参加しました。  
園児たちは歌を歌い、祖父母へ肩たたきのプレゼントをしました。年長組は参加者にお茶を出すもてなしをしました。  
福住福寿会は、祭りばやしを園児たちに披露しました。演奏の後には



英保育園児に肩たたきのプレゼントをしてもらう祖父母ら

ね。これからも元気で長生きしてください」と園児があいさつすると、入所者の代表が「今日はありがとう。また来てくださいね」とお礼の言葉を述べていました。

九月十四日、新美千代子さん(植)と伊藤久子さん(植)は、「一日入園」のお礼にと、南部保育園を訪れ、園児全員に「アクセサリー」をプレゼントしました。  
二人は、南部宅老所でコーヒーに入れるミルクのカップを利用した「アクセサリー」の作り方を覚えたそうです。ぼうしの形をしたアクセサリーを園児たちに手渡した後、かばんに付けて、「毎日元気に保育園へ通ってくださいね」と優しく子供たちに話しかけていました。



南部保育園児にアクセサリーをプレゼントする新美さん(左)と伊藤さん(中央)

子どもたちと一緒に太鼓をたたく場面も見られ、楽しいひとときを過ごしていました。